



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月31日

上場会社名 富士紡ホールディングス株式会社  
 コード番号 3104 URL <https://www.fujibo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 中野 光雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 吉田 和司  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-3665-7612

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,624	9.2	1,521	51.6	1,580	49.8	1,101	91.6
2020年3月期第1四半期	9,501	14.9	1,003	21.6	1,055	19.1	574	0.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,102百万円 (97.2%) 2020年3月期第1四半期 559百万円 ( 6.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	96.21	
2020年3月期第1四半期	50.24	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	51,697	34,372	66.5
2020年3月期	52,194	33,842	64.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 34,372百万円 2020年3月期 33,842百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		50.00		50.00	100.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		50.00		50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,400	11.5	2,270	5.7	2,370	5.5	1,400	4.6	122.27
通期	35,100	9.3	4,000	1.9	4,200	3.0	2,500	10.2	218.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	11,720,000 株	2020年3月期	11,720,000 株
2021年3月期1Q	272,984 株	2020年3月期	272,955 株
2021年3月期1Q	11,447,030 株	2020年3月期1Q	11,438,045 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益や個人消費において急速に減退が進み、極めて厳しい状況となりました。また、国内外経済において景気のさらなる下振れが懸念され、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような経営環境の下、当フジボウグループは当期を最終年度とする中期経営計画『加速17-20』の基本方針に則り、研磨材事業・化学工業品事業では、研究開発力、生産能力の強化を進めると共に、コスト削減、効率化、収益力の向上に努めました。新型コロナウイルス感染症の影響が大きい繊維事業では、感染拡大に伴う売上減に伴い、生産調整や販売戦略の見直し、経費削減等、様々な事業改革に着手しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比876百万円(9.2%)減収の8,624百万円、営業利益は517百万円(51.6%)増益の1,521百万円、経常利益は525百万円(49.8%)増益の1,580百万円となりました。これに特別損益、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比526百万円(91.6%)増益の1,101百万円となりました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

#### ①研磨材事業

主力の超精密加工用研磨材は、新型コロナウイルス感染症の影響による部材調達遅延や経済活動の抑制などの影響も懸念されましたが、シリコンウエハー用途および半導体デバイス用途(CMP)等は各種センサー用、5G通信用の半導体需要の増加に加え、ユーザーの在庫の積み増しにより拡大しました。ハードディスク用途は底堅いデータセンター用需要が続き、液晶ガラス用途でも大型パネル向けの需要により、堅調に推移しました。

この結果、売上高は前年同期比743百万円(27.2%)増収の3,477百万円、営業利益は621百万円(123.1%)増益の1,126百万円となりました。

#### ②化学工業品事業

機能化学品および医薬中間体などの受託製造は、中国における環境規制の影響による化学工業品生産の日本国内回帰の傾向が続いておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により一部ユーザーからの受注減少の影響を受けました。

この結果、売上高は前年同期比392百万円(12.2%)減収の2,831百万円、営業利益は130百万円(35.2%)減益の239百万円となりました。

#### ③繊維事業

繊維事業は、新型コロナウイルス感染症の影響の急拡大から、実店舗では一般家庭の外出自粛やインバウンド需要の大幅減等の影響を受け、厳しい状況となりました。一方でインターネットなど新規チャネルでの販売は、外出自粛の中の巣ごもり需要の増加等により堅調な動きが続いております。そのため、百貨店向け商品を中心に、在庫削減による物流費用の低減や、国内外生産拠点の適正化によるコストダウンを進めるとともに、採算性の低い商材からの撤退、体質改善に向けた構造改革を進めました。

この結果、売上高は前年同期比833百万円(32.6%)減収の1,720百万円、営業利益は46百万円(77.5%)減益の13百万円となりました。

#### ④その他

化成品事業は、デジタルカメラ用部品は新型コロナウイルス感染症の影響を受けた一部ユーザーからの受注が減少しましたが、医療機器用部品が堅調に推移しました。また、金型部門は、自動車・二輪車各メーカーのモデルチェンジに向けた量産用金型が堅調に推移しました。貿易事業は、中米カリブ海地域向け自動車・農業用機械などの三国間貿易において、同地域各国の主要都市ロックダウンのため、前期末に一部の債権に対し引当を積みましたが、解除に伴い回収されたため取り崩しました。

この結果、売上高は前年同期比393百万円(39.8%)減収の595百万円、営業利益は71百万円(102.2%)増益の141百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

資産合計は前連結会計年度末に比べて496百万円減少の51,697百万円となりました。

流動資産は1,139百万円減少の17,748百万円となりましたが、これは現金及び預金が減少したことなどによりま

す。固定資産は643百万円増加の33,948百万円となりましたが、これは化学工業品事業において設備投資を進めたことによりま

### (負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて1,026百万円減少の17,325百万円となりました。

流動負債は1,146百万円減少の10,265百万円、固定負債は119百万円増加の7,059百万円となりました。これは、未払法人税等などが減少したことなどによりま

### (純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて530百万円増加し、34,372百万円となりました。これは、剰余金の配当による減少が572百万円ありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加が1,101百万円あったことなどによりま

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月13日の「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」公表時には、世界的に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響が長期化することが懸念され、景気の先行きを見通すことは極めて困難な状況であったことから、未定とさせていただいておりました。

新型コロナウイルス感染症の影響は現在も続いており、当社グループにおいては、繊維事業での影響が最も大きく、コストダウン等を通じて収益改善に取り組んでおります。また、主力の研磨材事業、化学工業品事業においても、先行きの不透明感が残り、需要は不安定に推移するものと考えております。

そのため、これらの状況を踏まえて、現時点で入手可能な情報に基づき算定した業績予想を公表することといたしました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,994	3,299
受取手形及び売掛金	8,368	8,187
商品及び製品	1,692	1,891
仕掛品	2,474	2,664
原材料及び貯蔵品	1,172	1,196
その他	331	536
貸倒引当金	△146	△26
流動資産合計	18,888	17,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,863	6,882
土地	13,891	13,847
その他（純額）	9,576	10,139
有形固定資産合計	30,331	30,868
無形固定資産	744	719
投資その他の資産		
その他	2,271	2,402
貸倒引当金	△42	△42
投資その他の資産合計	2,229	2,360
固定資産合計	33,305	33,948
資産合計	52,194	51,697

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,841	3,917
電子記録債務	873	814
短期借入金	1,189	1,177
未払法人税等	759	215
引当金	640	335
その他	4,108	3,805
流動負債合計	11,411	10,265
固定負債		
長期借入金	298	323
退職給付に係る負債	4,730	4,634
資産除去債務	311	311
その他	1,598	1,790
固定負債合計	6,940	7,059
負債合計	18,351	17,325
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,673	6,673
資本剰余金	2,176	2,176
利益剰余金	23,580	24,109
自己株式	△555	△555
株主資本合計	31,874	32,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	390	502
繰延ヘッジ損益	△17	△3
土地再評価差額金	1,270	1,270
為替換算調整勘定	313	190
退職給付に係る調整累計額	9	9
その他の包括利益累計額合計	1,967	1,968
非支配株主持分	0	0
純資産合計	33,842	34,372
負債純資産合計	52,194	51,697

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	9,501	8,624
売上原価	6,280	5,445
売上総利益	3,220	3,179
販売費及び一般管理費	2,217	1,658
営業利益	1,003	1,521
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	25	25
固定資産賃貸料	66	64
その他	4	11
営業外収益合計	98	101
営業外費用		
支払利息	5	3
固定資産賃貸費用	15	16
その他	25	22
営業外費用合計	46	42
経常利益	1,055	1,580
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産処分損	36	20
減損損失	6	6
投資有価証券評価損	—	12
構造改革費用	96	—
その他	—	0
特別損失合計	139	39
税金等調整前四半期純利益	915	1,541
法人税、住民税及び事業税	226	272
法人税等調整額	114	167
法人税等合計	341	439
四半期純利益	574	1,101
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	574	1,101



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	574	1,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65	111
繰延ヘッジ損益	4	13
為替換算調整勘定	36	△123
退職給付に係る調整額	9	△0
その他の包括利益合計	△15	1
四半期包括利益	559	1,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	559	1,102
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を繰り延べて処理する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,734	3,223	2,553	8,511	989	9,501	—	9,501
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	—	—	2	—	2	△2	—
計	2,736	3,223	2,553	8,513	989	9,503	△2	9,501
セグメント利益	504	369	60	934	69	1,004	△0	1,003

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、化成品事業および精製事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、保有会社における利用計画がなく時価も下落している固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として認識しました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては6百万円であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,477	2,831	1,720	8,029	595	8,624	—	8,624
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	—	1	0	1	△1	—
計	3,478	2,831	1,720	8,030	595	8,626	△1	8,624
セグメント利益	1,126	239	13	1,379	141	1,520	0	1,521

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、化成品事業および精製事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、保有会社における利用計画がなく時価も下落している固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として認識しました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては6百万円であります。